91歳 現役ラガーマン

マスターズ花園にトライ

滋賀・膳所高OB「競技の魅力アピールしたい」

91歳の現役ラガーマンがいる。高校卒業後は遠ざかっていた競技を40歳過ぎで再開してから半世紀になる。今月8～10日に大阪・花園ラグビー場で初開催される「マスターズ花園」にも出場予定で、「ワンプレーでも試合に出て、ラグビーの魅力をアピールしたい」と意気込む。（岩崎祐也）

滋賀県立膳所高ラグビー班（部）初代部員の貴田哲弘さん（大津市）。1931年に大津市で生まれ、旧制京都市立第一商業学校（現・京都市立西京高）在学中に競技を始めた。45年春に疎開で大津市に戻り、膳所高の前身校で「ラグビー班」の1期生となった。

身長1㍍60で、機動力と判断力を求められるスタンドオフやスクラムハーフを担った。「小柄でもキックやパスなど役割に合わせて活躍できる。こんなに楽しいスポーツはほかにない」。練習ははだしで、ボールはすぐに糸がほつれ、楕円は丸く変形していたが、夢中で競技に打ち込んだ。

高校卒業後は競技から離れたが、40歳を過ぎた頃に知人に誘われて再開。会社勤めの傍ら、毎週末に仲間と集まって練習した。「特別なトレーニングはしなかったけど、まめに週末の練習を続けたことが長持ちした秘訣」と話す。

現在は、滋賀県のシニアチーム「びわこ惑惑クラブ」に所属。シニアラグビーでは年代別に白（40歳代）、赤（60歳代）などとパンツを色分けするルールがあり、気付けば90歳以上を意味する金色パンツをはく県内初のプレーヤーになっていた。接触プレーを制限するのが目的で、下の年代からはタックルなど体への接触を受けないのが原則だ。

ここ数年、脳梗塞や心筋梗塞を発症した影響で体力や脚力が落ち、プレーは控え気味。それでも練習に顔を出して仲間と過ごすひとときが楽しみだという。

マスターズ花園に膳所高OBチームが参加することになり、出場依頼を快諾。母校の現役部員とチームの合同練習にも参加した。3年の渡辺康介主将（18）は「部の歴史を実感し、刺激を受けた。息長くラグビーを頑張りたい」と話した。

貴田さんは「競技で学んだ精神や方法論はその後の人生にも生きる。やっていてよかったと思える日がきっと来る」と後輩らにエールを送りつつ、「この年で花園でプレーできるのはうれしい。思いっきり楽しみたい」と大会を心待ちにする。

膳所高OBチームは、同校が全国大会に初出場した87年度の優勝校・秋田県立秋田工業高OBチームと9日に対戦する。

◀マスターズ花園に向けて練習する貴田さん。家族も応援しているという（大津市の膳所高で）

マスターズ花園　大阪府東大阪市や関西ラグビー協会などでつくる実行委員会の主催で、マスターズ世代（40歳以上）の高校OBチームの大会。花園出場経験のある高校を中心に、北野（大阪）、和歌山工（和歌山）など18チームが参加し、各校1試合ずつ交流試合を行う。

した自動車メーカーが技術力や環境への取り組みをアピールする場にもなっており、日本からは日産自動車が参戦している。

車体の動力源はすべて電気で、大きな騒音や排ガスを出さない。最高時速は280キロで、レースは原則、市街地の公道を閉鎖して行われる。江東区の東京ビッグサイト周辺を周回するコースを想定しており、今後、都が警視庁など関係機関と調整する。

◆北ミサイルで放送休止

北朝鮮が4日朝に弾道ミサイルを発射したことを受け、NHKは同日、BSプレミアムで午前7時半、総合テレビで同8時からの連続テレビ小説「舞いあがれ！」第2回の放送を休止した。第2回は総合が5日午前8時から、BSプレミアムは同7時半から放送し、第3回を続けて放送する予定。

◆朝ドラ初回は16・5％

3日に始まったNHK連続テレビ小説「舞いあがれ！」の初回視聴率は、関西地区で世帯16・5％（関東地区16・3％）、個人8・6％（同9・0％）だったことが4日、ビデオリサーチ社の調べでわかった。前作「ちむどんどん」の初回は、関西地区で世帯15・9％（同16・7％）、個人9・3％（同9・3％）。

Sports

「世界一の練習」紹介

日本選手たちがタップあって新の感染すことを合を戦い

医師の理学療法士（52）（38）。機関で予防や予防のため、から代表